

1. 協議会活動方針

会長 小松川 浩
公立千歳科学技術大学

会員の皆様

日頃から、本協議会のご支援を賜り、誠にありがとうございます。本年も、共通基盤教材の共有・デジタルを活用した教育事例の共有に努め、年度末の総会フォーラムにて皆様と情報交換を図らせて頂きます。

共通基盤教材では、数理データサイエンスのデータ統計を中心としたレベル別の演習問題セットを、山梨大学・創価大学・公立千歳科学技術大学の連携で整備し、ご利用頂けるようになっています。また、大学1、2年生向けのアカデミックスキルズ修得の一環として「論文型レポートの書き方を学ぶ」ことを目的に作成した教材も公開予定です。特に、レポートを書く上で大事なことを紹介した上で、資料の検索、文章表現、レポートの型、体裁、推敲・構成等の内容をカバーしており、解説映像のほか、内容の習得を確認する演習問題（確認テスト）を提供予定です。

昨年に引き続き、生成系 AI の教育応用の事例の収集も努めています。生成系 AI の学習活動での利用や学習成果の評価支援に関する取組について、会員間での情報共有が進んできています。大手前大学（兵庫）で3月4日・5日に開催される総会フォーラムでは、関連する多くの事例を共有することとしています。また、昨年から文部科学省の補助事業（大学・高専機能強化支援事業）を通じて、多くの大学で DX 人材育成に向けた学部改組・大学院の機能強化が進められています。こうした中では、当然のことながら、学修者本位の教育が重要となり、個に応じた教育プログラムの展開や学修成果の可視化の文脈で、デジタルを活用した教育手法の導入が求められます。学部改組を予定している大手前大学の協力も得ながら、3月のフォーラムでは、こうした大学間での情報の共有も図りたいと考えています。

さらに、大手前大学は通信教育が非常に進んでいることから、本年度は、通信教育におけるオンライン活用教育のノウハウを通学制大学でどのように展開可能かについても考えていきます。是非、多くの皆様に、今年の e ラーニング協議会の活動にご参加頂き、3月の総会フォーラムで情報共有できますことを楽しみにしております。

2. 加盟組織一覧

会長 小松川 浩（公立千歳科学技術大学）
代表幹事校 大手前大学
事務局長 望月 雅光（創価大学）
監査校 岩手県立大学、長岡技術科学大学
渉外 森 祥寛（金沢大学）
会計 西尾 信大（大手前大学）
幹事校 岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、金沢大学、熊本大学、
公立千歳科学技術大学、佐賀大学、信州大学、創価大学、
長岡技術科学大学、山梨大学

加盟大学 愛知大学、大阪工業大学、大阪大学、岡山理科大学、尾道市立大学、
金沢学院大学、金沢工業大学、畿央大学、九州工業大学、京都情報大学院大学、
国士舘大学、桜の聖母短期大学、札幌学院大学、札幌大学、湘南工科大学、
仁愛女子短期大学、清泉女子大学、中信金融管理學院、帝塚山大学、電気通信大学、
東洋大学、徳島大学、長崎国際大学、長崎大学教育開発機構、日本工業大学、
八戸工業大学、兵庫医科大学、防衛大学校、法政大学、北星学園大学、
北海道医療大学、三重大学、武蔵野大学、明海大学、桃山学院大学、盛岡大学
酪農学園大学、和歌山大学

賛助会員 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸、
NPO 法人コンソーシアム TIES、株式会社カルク、
株式会社デジタル・エデュケーショナル・サポート、株式会社ナレロー、
株式会社ネットラーニング、株式会社メイドインクリニック、
公益財団法人日本漢字能力検定協会、こだまりサーチ株式会社、
ユニコネクト株式会社

50 音順 加盟大学 49 校 賛助会員 10 社（2024 年 10 月 31 日現在）

3. 2023 年度 UeLA フォーラム・総会の報告

UeLA 事務局

1) 2023 年度フォーラム

2024 年 2 月 28 日・29 日、「学修成果の可視化と教育の DX について」をテーマに、現地、公立千歳科学技術大学と Zoom のハイブリッド形式で、e ポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアムとの共催によるフォーラムを開催いたしました。

28 日午前の部では、部会主催による事例報告として、山梨大学からは「生成 AI を大学としてどのように受け入れ、対応・展開していくのか」について、東京工業大学からは、「理工系総合大学における LMS 運用の現状と展望」について、また大手前大学からは「授業内外におけるレポート作成支援教材の利用事例」についてご報告いただきました。

午後の部では、基調講演として、文部科学省高等教育局大学教育・入試課 課長 古田 和之氏による「高等教育政策の動向について」のテーマで、また特別講演Iとして、金沢工業大学 工学部 情報工学科 教授 山本 知仁氏による「金沢工業大学における教育 DX の取り組みと学修者支援」に

ついて、さらに特別講演IIとして、大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授 星野 聡孝氏による、「学修／教育eポートフォリオと、その深化 ～大学統合を経た大阪公立大学における学修成果の可視化～」についてのテーマでご講演いただきました。その後、九州工業大学 大学院情報工学研究院 生命化学情報工学研究系 教授 坂本 寛氏司会のもと、パネルディスカッションを開催し、ご講演者の皆様にはパネリストとしてご参加頂きました。

また、29日には、日本リメディアル教育学会（JADE）ICT活用教育部会との共催により、JADE & UeLA 合同フォーラムを開催し、計 10 件の研究発表が行われました。フォーラムには、現地 70 名（申込数）、Zoom1 日目 136 名・2 日目 63 名の方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。なお、フォーラム予稿集および発表資料は、下記のアドレスにて公開しております。

JADE・UeLA 合同フォーラム予稿集

<https://ucla.jp/proceedings/>

2) 2023 年度総会

フォーラム同日（2024 年 2 月 28 日）、2023 年度総会が開催されました。審議事項、報告事項は以下の通りで、全て承認されました。

■ 審議事項

1. 決算について
2. 予算について
3. 規約の変更について
4. 協議会の所在地（住所）について

■ 報告事項

1. 監査校の再任について
2. 代表幹事校の互選について
3. 幹事校について
4. 2023 年度加盟校・退会校
5. JADE&UeLA 合同フォーラム 2023 について
6. 共通基盤教材利用状況
7. 部会実施報告
8. 事務局業務実施状況

4. 協議会活動報告

■ 2023 年度

開催日			開催方式	
2023 年	4 月	24 日	事務局ミーティング	Zoom
	5 月	15 日	幹事校ミーティング	Zoom
	6 月	16 日	大学 ICT 推進協議会イベント（システム運用部会協力）	現地
	7 月	31 日	幹事校ミーティング	Zoom
	8 月	7 日	ICT 活用教育事例部会 「ChatGPT 等の AI 対話サービスおよび e ポートフォリオの利活用に関するアンケート」実施	—
	8 月	22 日	JADEICT 活用教育部会&UeLA 第三部会合同セッション	現地
	8 月	29 日	システム運用部会イベント教育システム情報学会	現地・Zoom
	9 月	29 日	幹事校ミーティング	Zoom
	10 月	6 日	事務局会議	Zoom
	12 月	2 日	コンテンツ・教材共有部会 日本リメディアル教育学 授業実践フォーラム	現地
2024 年	2 月	27 日	幹事会	※ハイブリッド
	2 月	28 日	2023 年度総会	〃
	2 月	28・29 日	JADE&UeLA 合同フォーラム 2023	〃

※ハイブリッド（公立千歳科学技術大学・Zoom）

■ 2024 年度

開催日			開催方式	
2024 年	5 月	23 日	幹事会	Zoom
	7 月	31 日	幹事会	Zoom
	8 月	27 日	大学 ICT 推進協議会イベント（システム運用部会協力）	現地
	8 月	27 日	幹事会	現地
	9 月	27 日	幹事会	Zoom
	10 月	22 日	事務局会議	Zoom

5. 部会活動報告・活動予定

1) 第一部会 部会長 大西 淑雅 (九州工業大学)

本部会では、システムの構築・運用に関するノウハウの共有を主な活動として行っています。来年度には、山口先生（九州工業大学）にも副部会長に就任頂き、新村先生（信州大学）と共に、部会活動のイベントを行う予定しています。詳しくは部会ホームページ、2024年度活動予定をご覧ください。

2023年度活動報告：

○「Moodleの機能拡張と活用実践」2023年8月29日(火) 10:20～11:50

教育システム情報学会・全国大会のプレカンファレンスの枠をお借りして、Moodleにおける機能拡張(プラグインやLTI)をテーマに、システム運用と活用について情報交換を行いました。現地参加者は15名程度、オンライン参加者は27名程度（現地参加との重複あり）でした。

○第1部会事例報告 2024年2月28日(水) 10:25～10:50

2023年度のフォーラム初日（午前中）には、「LMSの持続的な運用・管理」をテーマに、事例報告2「理工系総合大学におけるLMS運用の現状と展望」を東京工業大学・教育革新センター・島山久先生に行っていました。

2) 第二部会 部会長 山川 広人 (公立千歳科学技術大学)

2023年度活動報告

第2部会では、2024年2月のUeLAフォーラム2023において、大手前大学様のレポート指導教材やその活用事例をご紹介いただくなど、新たな共有基盤教材の共有にむけた準備を進めました。

また、LTIベースの動画配信システムの準備など、2023年度は新たな共通基盤システムの展開にもつながる年度となりました。

2024年度活動予定

今後は、レポート指導教材、プログラミング教材など、新たな教材の公開を見据えて準備を進めています。

引き続き、また、各大学からの新たな教材の共有の実現などにも力をいれ進めていきます。

また、共通基盤システムで活用しているクラウドサービスの更改も行ってまいります。

3) 第三部会 部会長 日永 龍彦 (山梨大学)

第3部会の活動内容は、第1、第2部会と連携して、実際に協議会加盟大学が提供し合うシステムや教材等を活用しながら教育実践を図り、そのノウハウや知見を協議会内で共有することです。2023年度からは急速に発展する生成系AIを教育実践にいかに関活用するかについても検討の対象にしています。今年度は、日本語文章作成能力の育成を目指した教育に焦点を当てており、そのような教育が必要となった背景や関連する教育活動へのデジタル技術活用実践事例とそこで得られた知見などを総会・フォーラム2024において報告する予定です。

6. 2024 年度フォーラム・総会について

1) JADE & UeLA 合同フォーラム 2024 趣旨

コロナが明け、対面の学びが戻った今、対面の代替としてのオンラインとは別に、新たなデジタル技術を伴う形で、多様な教育ニーズに呼応したオンライン活用が進んでいます。学修者本位の教育を踏まえると、数理データサイエンス教育に代表される学部や学科を横断した教育プログラムや大学独自の学修コースの検討も進み、こうした多様で柔軟な教育プログラムの実現には、オンキャンパス型の教育機関でもオンラインを有効に活用することが期待されます。また、昨今の生成系 AI の進化とその普及に伴い、デジタルを有効に活用した学修支援や効率的な授業運営（実効的な教育 DX の進展）に期待が集まっています。本フォーラムでは、こうした背景に基づき、対面型の学びを支えるオンラインとデジタルの活用について、会員間での情報共有を図ることを目的とします。

そのため、授業における LMS の有効活用、学修成果の可視化と質保証の取組、主体的な学修を支援するデジタル活用など、多様な活用事例について、発表を募集します。関連する特別講演も企画します。また、オンラインとデジタルの活用という点では、通信制教育課程の取組が大変参考になることから、実績のある大手前大学・創価大学・熊本大学の関係者に、その有効な活用方策についてご講演を頂きます。さらに、オンラインとデジタルの活用に関連する教育的な背景となる、初等中等での情報活用教育の進展や、多くの大学で進む学部改組も踏まえ、関連する政策動向についても講演を頂く予定です。さらに、本協議会が開発・運用してきた、大学初年次教育や高大接続で利活用可能な CBT 教材についても、改めてご紹介をすることとします。

本フォーラムは、大学 e ラーニング協議会と大手前大学・大手前短期大学の共催で進めることから一部プログラムは大手前大学・大手前短期大学の FD を兼ねて実施を致します。また、日本リメディアル教育学会関西支部との共同セッションまた関連イベントとして大手前大学・大手前短期大学が企画するセミナーも予定しています。是非、多くの大学教育関係者ならびに近隣の高校教育関係の皆様にお集まり頂き、活発な議論を頂ければと思います。

2) JADE & UeLA 合同フォーラム 2024 概要

■日時 2025 年 3 月 4 日（火）、5 日（水）

会場	大手前大学 夙川キャンパス（現地開催）
テーマ	「対面の学びを支えるオンラインとデジタルの活用」
内容	基調講演： 文部科学省に依頼中
	特別講演 1： 「学習支援用システムの学内設計指針と生成 AI の活用」 熊本大学 中野裕司先生
	特別講演 2： 「学習成果の可視化と質保証との授業設計」 大手前大学・創価大学
	特別講演 3： 「ポストコロナのオンライン活用の事例」 公立千歳科学技術大学
	事例報告 1： 「教材の紹介」 第二部会
	事例報告 2： 「日本語教育へのデジタル活用事例」 第三部会
	総会

7. 共通基盤のご案内

1) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、文部科学省の補助事業で行ってございました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの eラーニング教材の共同利用を開始しました。初年次教育等にむけた汎用的な教材の整備と共有を狙っており、数学(中学・高校・大学初級)、日本語、英語、情報、SPI 対策といった科目を提供しています。

会員大学は、試験利用期間(1年間程度)は無料で、本格利用に際しては年間7万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、協議会ホームページ内の特設サイト <https://ucla.jp/system/> をご覧ください。

2) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧ください、ご興味のある大学は、UeLA 共通基盤問い合わせ窓口 kiban@ucla.jp までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：<https://ucla.jp/visit/>

8. 入会のご案内

当協議会は、日本における eラーニングを先導的に推進している大学が集まり、教育・運用方法に関する知識交流を図りながら、緩やかな大学連携の在り方を検討していくことを目的とし、2009年2月6日に設立をいたしました。

お陰様をもちまして、加盟組織も58機関(2024年9月末現在)となり、今後も当協議会の目的である、eラーニングに関するノウハウ(知識)や、教育方法と密接に連携したFDの取組などを積極的に公開し、eラーニングを活用した効果的な授業展開や新たな教育方法の確立を目指すべく、協議会運営を行って参りたいと考えております。

つきましては、部会の活動紹介ならびに本協議会規約をご覧ください、加盟についてご検討頂けましたら幸いです。

なお、加盟を希望される場合は、加盟申込ページ <https://ucla.jp/membership/application/> のファイル提出フォームより、「大学 eラーニング協議会 加盟申込書」をご提出頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

9. 事務局からのご案内

1) 会費納入のお願い

2023 年度および 2024 年度の会費未納の組織は、納入をよろしくお願いたします。

■ 振込口座

銀行名： 三井住友銀行
支店名： 西宮支店（店番 370）
口座番号： 普通 8954271
口座名義： ダイアクイーラーニングキョウカイ カイヨウ コマツガリ ヒロシ
大学 eラーニング協議会 会長 小松川 浩

2) 加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡ください。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニュースレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学 eラーニング協議会ニュースレター NO.26

発行： 大学 eラーニング協議会 事務局

発行日： 2024 年 11 月 1 日

お問合せ： office@ucla.jp